

# 大分港海岸 直轄海岸保全施設整備事業の着工式を開催

11月12日（日）に大分オアシスタワーホテルにて、大分県と九州地方整備局の共催により、『大分港海岸 直轄海岸保全施設整備事業』の着工式を開催しました。

式典には、地元選出の国会議員をはじめ、県・市議会議員、地元自治体（大分県・市）、経済界や住民代表者など、約120名の方々に出席して頂き、大分市内の“とぜん幼稚園”のみなさんにドラムロールで花を添えて頂きました。



大分港海岸の背後には、多くの市民が暮らす大分市街地や国内有数の臨海工業地帯が広がっています。この様な中、南海トラフ地震・津波や台風に伴う高潮・高波による大規模被害が発生するおそれがあり、加えて建設後50年以上経過した海岸施設は老朽化が進行していることから、防護機能の低下により甚大な被害に繋がるおそれが高まっています。

本事業は、津波・高潮被害から地域の方々の生命・財産を守るため港湾海岸を整備するものであり、多くの来賓の方から早期完成を祈念する祝辞を頂きました。

